

環境法政策学会 法科大学院修了者向けシンポジウム

「理論と実務の架橋—厚木基地訴訟判決の法的意義」

開催目的：環境法・環境政策を発展させるという環境法政策学会の使命を果たす一環として、法科大学院修了生及び司法修習予定者等と、学会員が、環境法に関わる問題の実態や重要性とともに認識し、具体的な課題について検討する場を設定することを目的とする。

開催概要：学問としての理論と法曹の実務との架橋を目指し、法科大学院修了生による報告を最初に設定するとともに、実務家及び研究者にご報告いただき、対談することを予定している。さらにフロアとの質疑応答により、議論が深まることを期待している。

日 時：2014年9月11日（木）18:00～21:00

場 所：公益社団法人商事法務研究会 会議室

（東京都中央区日本橋茅場町3-9-10 茅場町ブロードスクエア）

参加費：法科大学院修了生・在学生及び環境法政策学会会員は無料。

上記以外の方は、資料代として1,000円（税込）頂戴いたします（当日、会場にて徴収）。

主 催：環境法政策学会

◆プログラム◆

主催者代表挨拶（18:00～18:05） 高橋 滋（環境法政策学会理事長／一橋大学教授）

全体司会 大塚 直（環境法政策学会事務局長／早稲田大学教授）

第1部 報 告（18:05～19:05）

報告1－法科大学院修了生によるミニ報告（18:05～18:25）辻村慶太

報告2－訴訟に関わった実務家による論点報告（18:25～18:45）福田 護（弁護士）

報告3－研究者からの報告（18:45～19:05）神橋一彦（立教大学教授）

休憩、質問票回収（19:05～19:30）

第2部 質疑応答、鼎談（19:30～21:00）

司会 北村喜宣（上智大学教授）

フロアとの質疑応答（19:30～19:50）

鼎談〔フロアとの質疑10分程度を含む〕（19:50～21:00）

福田 護（弁護士）／神橋一彦（立教大学教授）／小島延夫（弁護士）

■申込み・問合せ

<申込方法>

9月9日（火）までに、お名前、ご所属、連絡先（メール・電話）、環境法政策学会の会員か非会員かを明記の上、下記事務局までメールにてお申し込みください。受付番号は発行いたしません。

環境法政策学会事務局 E-mail : kankyo@shojihomu.or.jp

先着80名 定員になり次第締め切らせていただきます

<問合せ先>

環境法政策学会事務局

TEL : 03-5614-5633 E-mail : kankyo@shojihomu.or.jp

担当：築 (やな)